

## 旧中野刑務所正門のあり方に係る意見聴取の実施結果について

旧法務省矯正管区敷地は、平和の森小学校の移転用地として 2019 年度内に財務省より取得することが予定されている。当該敷地内にある旧中野刑務所正門のあり方について、区の取扱い方針検討の際の参考とするため、以下のとおり意見交換会等を実施した。聴取した意見等について、次のとおりまとめたので報告する。

### 1 意見交換会等

#### (1) 意見交換会

##### ①実施日時・会場等

実施回数 1 回

実施日時	会場	参加者数
2018年10月14日(日) 午後	区役所会議室	83人

##### ②意見、質問等の概要

別紙1のとおり

#### (2) 区民と区長のタウンミーティング

##### ①実施日時・会場等

実施回数 1 回

実施日時	会場	参加者数
2018年10月22日(月) 夜間	新井区民活動センター	52人

##### ②意見等の概要

別紙2のとおり

#### (3) メール等による意見募集

##### ①実施期間

2018年10月10日(水) から10月26日(金) まで

##### ②件数

216件(区内124件、区外62件、不明30件)

##### ③意見等の概要

別紙3のとおり

(4) 平和の森小学校保護者・教職員あてアンケート

①実施期間

2018年10月2日(火)から10月15日(月)まで

②回答数

176(配付数 593(内回収数 344))

③アンケート結果の概要

別紙4のとおり

2 今後のスケジュール

平成30年第4回定例会 旧中野刑務所正門の取扱いに関する考え方について報告

(参考) 平和の森小学校新校舎整備について

2019年1月	基本構想・基本計画(案)とりまとめ
2019年3月末	基本構想・基本計画の策定
2019～2020年度	基本設計・実施設計
2021～2022年度	新築工事
2023年度	新校舎供用開始

## 「旧中野刑務所正門のあり方について」の意見交換会における主な意見等

## 1 保存すべきとする主な意見

No.	内 容
1	配付資料にあるとおり、意見聴取をした学識者全員が文化財的価値を認め、現地保存が望ましいとしている以上、現地保存が原則である。
2	赤レンガは美しい素材で、見ているだけで人に希望を与えるものであり、子どもたちの心の教育にも有益である。
3	門には新しい時代の人間を大事にする思いが込められており、教育につながる人間のポジティブな遺産である。
4	刑務所の門という負の遺産だからこそ、逆に残すべきだ。
5	教科書に載るような、言論の自由のために尽くした人々が収監された刑務所であり、歴史を伝える文化財として残すべきだ。
6	設計者・後藤慶二の門は意匠的にも学術的にも優れており、残すべきだ。
7	文化財のある学校は全国的にも数が少なく、残すことで子どもたちの誇りにもつながる。
8	現在、世界情勢から見ても平和は重要な問題であることから、門を残せば50年後には世界遺産になり得る。
9	子どもたちの考える力を育むためにも、門という実物を残すことに意味がある。

## 2 保存すべきでないとする主な意見

No.	内 容
1	移築する際に壊れる可能性のある門は残すと、子どもの安全が確保できない。
2	残すことで校庭が狭くなるなど、学校としての機能を損ねるのであれば、門は壊してほしい。
3	学校は防災の拠点にもなることから、門を残すことで子どもたちや地域の人々の安全が損なわれないようにしてもらいたい。
4	刑務所の門を学校施設に残すことに問題を感じる。

### 3 その他の意見・質問

No.	内 容
1	残すか残さないかの二者択一を区民に迫るのはおかしい。
2	新校舎の配置イメージでは、門を残すケースはデメリットばかりを列記しており、意図的なものを感じる。
3	区発行の複数の資料では、門を歴史的建造物、平和史跡として位置づけて価値を認める記載があるのに、残すか否かの議論を今更するのが疑問である。
4	刑務所という類のものを学校に残すのは問題がある。平和教育は難しく、残すのであれば、保存を望む人たちが将来にわたって説明責任を果たすべきだ。
5	門を残した場合にかかる経費は予算化できるのか、また、維持経費はどのくらいかかるのか教えてほしい。
6	1985年の新聞報道によれば、区と建築学会が法務省に働きかけて門が保存されたとあるが、当時のこの件に関する公文書は残っているのか。
7	この門を文化財として登録する動きはこれまであったのか。
8	区ではこの門の存在価値をどのように考えているのか。
9	安全で快適な広さの学校を建て、一刻も早く新校舎を整備してほしい。
10	門を現地保存する場合には、安全が担保できないのであれば賛成できない。

## 「区民と区長のタウンミーティング」（10月22日開催）の主な意見等

## 1 門の保存・活用に関すること

No.	内 容
1	建築的価値からも門を残してほしい。
2	門の歴史的、文化的価値は高い。
3	さまざまな思い出があるので、資料館などで後世に伝えていくべきである。
4	残す、残さないにかかわらず記録をすることは費用的に安いのでしてほしい。
5	壊してしまうと価値はゼロとなるが、移設してある程度、価値が残るのであれば、それでも良いのではないか。
6	門の価値が分からない。ここに絶対残さないといけないものか。移設しても少しでも価値が残れば良いのではないか。
7	門は残しつつ、子どもたちのために安全性を確保し、校庭を広くしてほしい。
8	学校の建築にあたっては、子どもの安全面を確保したうえで、門を保存しつつ、教職員の仕事のしやすさを担保する動線の確保がなされなくてはならない。
9	門を現在地から移設することで、学校として少しは使いやすくなるのではないか。
10	一般の方が小学校に入るとは安全面から心配であるため、門と学校は切り離して考えてほしい。
11	区内の建築家の方から提案がされていることを踏まえ、白紙の状態から関係者が集まり、話し合う場をつくってほしい。
12	文化財としての調査を外からだけでなく中にも入り、きちんと見てほしい。国の指定になるかもしれない。
13	平和の森小学校という名のとおり、ここから平和を発信していく場になってほしい。
14	子どもたちに門の歴史を伝える際には、教職員の工夫も必要である。
15	学校に一般の方が入ってくことに不安を覚える人もいるので、観光として活用するにあたって、年に何回と、公開日を設ける必要がある。
16	ダークツーリズムというような観点から、暗い刑務所のイメージではなく、網走刑務所のように観光資源として活用できれば良いのではないか。

## 2 その他

No.	内 容
1	地域を超えた価値があるのであれば、クラウドファンディングなども活用してほしい。
2	隣の敷地や小学校が移転した後も現・平和の森小学校の敷地を使えないかなど、別な選択肢についても考えてほしい。
3	子どもがゆったり遊べる校庭がほしい。
4	区は子どもたちのために、小学校にお金をかけてほしい。
5	地域開放型図書館ができるので、地域に開かれた学校になってほしい。
6	近隣の小学校の統廃合も見直してほしい。新井小学校と上高田小学校が統合する計画となっているが、新井小学校は平和の森小学校に近いので、新井小学校の児童が平和の森小学校に来たいと希望し、今よりも平和の森小学校の児童が増えてしまう恐れがある。

## 旧中野刑務所正門のあり方についてのメール等による意見等

## 1 提出方法

方 法	件 数
メール	9 3
ファックス	8
郵送	1
直接	1 1 4
合計	2 1 6

## 2 希望するあり方（複数回答あり）

あり方	件 数
現地保存（内部見学も可）	1 9 1
現地保存（外部見学のみ可）	2 4
移築	1 3
一部保存	2
記録保存（映像、模型等での保存）	8
その他	6
合計	2 4 4

※上記は、専用様式に記載した選択肢に対する回答数を集計したものである。

## 3 自由記述の主な内容

## (1) 保存すべきとする主な意見

No.	内 容
1	二度とつくることのできない貴重な文化財である。
2	中野区民のみならず国民全体の文化財である。
3	設計者・後藤慶二の現存する唯一建造物であり、保存すべきである。
4	文化財に指定すべきだ。
5	日本や中野区の歴史を語る貴重な建物である。
6	負の遺産（思想弾圧、言論統制）だからこそ、歴史的資料として保存すべきだ。
7	子どもたちが歴史、文化を学ぶ良き教材にもなり得る。
8	文化史上でも貴重な建物である。

9	大正期の歴史・文化を伝える貴重な文化財である。
10	小学校の新校舎の一部として残してほしい。
11	観光資源として活用してほしい。
12	レンガ造りの建築は、現代では稀有である。
13	建築史上でも貴重な建物である。
14	実物資料として残すことに意味がある。
15	建築家の知恵を借り、門と学校が共存する設計にしてほしい。
16	建築を学ぶ学生の教材としても価値がある。
17	文化財と共存する学校は少なく、子どもたちや地域の誇り、思い出につながる。
18	中野区には文化的なものが少ないので、残すべきである。
19	保存のためにクラウドファンディング等の寄付を活用してはどうか。
20	幼い頃からの大切な思い出の場所である。

## (2) 保存すべきではないとする主な意見

1	税金は門の保存ではなく、学校の建設・教育にこそ使うべきである。
2	門はこれまでも文化財に指定されておらず、価値がない。
3	門が残ることで子どもの安全・安心が阻害される。
4	刑務所の門があることで、学校のイメージダウンにつながる。

## (3) その他の意見

1	門の有無に関わらず、学校の安全は確保すべきである。
---	---------------------------

## 平和の森小学校保護者・教職員へのアンケート結果の概要

## 1 質問内容

新しい学校の整備予定地には、現在、「旧中野刑務所の正門」があります。新しい学校を建築するうえで、この「門」の保存についてご意見がございましたらお書きください。  
(自由意見)

## 2 集計結果

現地保存	56件
移築による保存	41件
保存の必要なし	66件
その他	13件
合計	176件

※集計した各自由意見の趣旨を踏まえ分類したものである。

## 3 意見等の概要

## (1) 「現地保存」の主な意見

No.	内 容
1	崩れるなどの心配がなく、学校生活において危険なものでないと明確にわかれば保存してもよい。
2	古い建物なので、耐震補強をして学校の一部として利用するならよい。
3	保存してもらいたいが、新校舎の建築工事の遅延が生じないようにしてもらいたい。
4	残すのも良いと思うが、子どもの安全性を優先すべきである。
5	文化的な面でも残してほしい。子どもたちにも歴史を学んでほしい。
6	歴史を知る重要な遺跡なので残すべきである。
7	歴史を学ぶにあたり歴史的建造物が身近にあるのはとても良いことだと思う。ぜひ保存し外部からも見学が可能になればよい。
8	文化財として価値があるもののようなので、学校の雰囲気と共存できるような形で残せたら良いと思う。
9	学校の特色づくりに良いと思う。残す価値があるものだと思う。

## (2) 「移築による保存」の主な意見

No.	内 容
1	子どもの安全を確保するため。また、一般の方が見学しやすいようにするため、学校敷地の外に保存場所を設けてもらいたい。
2	見学施設を作ると校庭が狭くなり、不特定多数の人が校内に入ることになるので不安が残る。歴史的な建築物だと思うので、移築する方法で残してもらいたい。
3	歴史的構造物だが、そのために新校舎建築の自由度が損なわれるべきでないため、移築すべきである。
4	学校建築を優先して、校舎・校庭等の建築の妨げになるのなら、移設して保存してもらいたい。
5	古い建物であり、現在の建築基準を満たしているか心配。保存する場合、別敷地に移設すべきである。
6	刑務所だったということなので、ネガティブなイメージがある。どんなに芸術的であっても移設してもらいたい。
7	小学校に刑務所の門があることはふさわしくないので、他の場所で保存すればよい。
8	学校内に門を残すことに抵抗がある。門は移動し、刑務所跡地として平和の記念碑などを作ればよい。

## (3) 「保存の必要なし」の主な意見

No.	内 容
1	子どもたちが安心・安全に生活していけることが一番であり、門は必要ない。
2	門があることによって、子どもたちの生活が制限（ボール遊びなどができない）されてはならない。
3	十分な広さの校庭や校舎を確保するために、保存する必要はない。
4	いらぬ。これを保存することで児童のための校舎建築に制限がされるのならば意味がない。
5	刑務所に子どもがいるみたいだから、不要である。
6	小さな子どもが通う教育施設に負の遺産である刑務所の門はふさわしくない。
7	子どもに刑務所の門をどのように説明するのかわからない。教育的な価値は乏しい。老朽化したものを残すのは安全上不安である。
8	門の扱いで新校舎建築が滞ることがないようにしてほしい。門に歴史的価値があろうと小学校に刑務所は似合わない。防災面、防犯面からもない方がよい。
9	学校教育とこれまで関係性がなかったため、保存する必要はない。
10	資料や模型、モニュメントなど、記録を残せば現物を残す必要はない。

## (4) 「その他」の主な意見

No.	内 容
1	災害時には学校は避難所にもなるので安全性を重視してもらいたい。
2	新校舎建築が遅くなるのは困る。